

エルナー株式会社

平成18年度業績のご説明

平成19年2月16日

平成18年度業績について

ELNA

当社は、平成18年8月18日に公表いたしました「中期計画」の実行施策に沿って、高付加価値商品への集中、不採算商品の見直しを進めると同時に、コスト構造を見直し、スリムで筋肉質な収益体質構築を図ってまいりました。

その結果、連結売上高は372億7千3百万円(前期比1.9%増)とほぼ前期並みとなりましたが、連結当期純利益は1億8千9百万円(前期は連結当期純損失6億9千2百万円)となり、平成14年度以来4期ぶりの当期黒字化を達成いたしました。

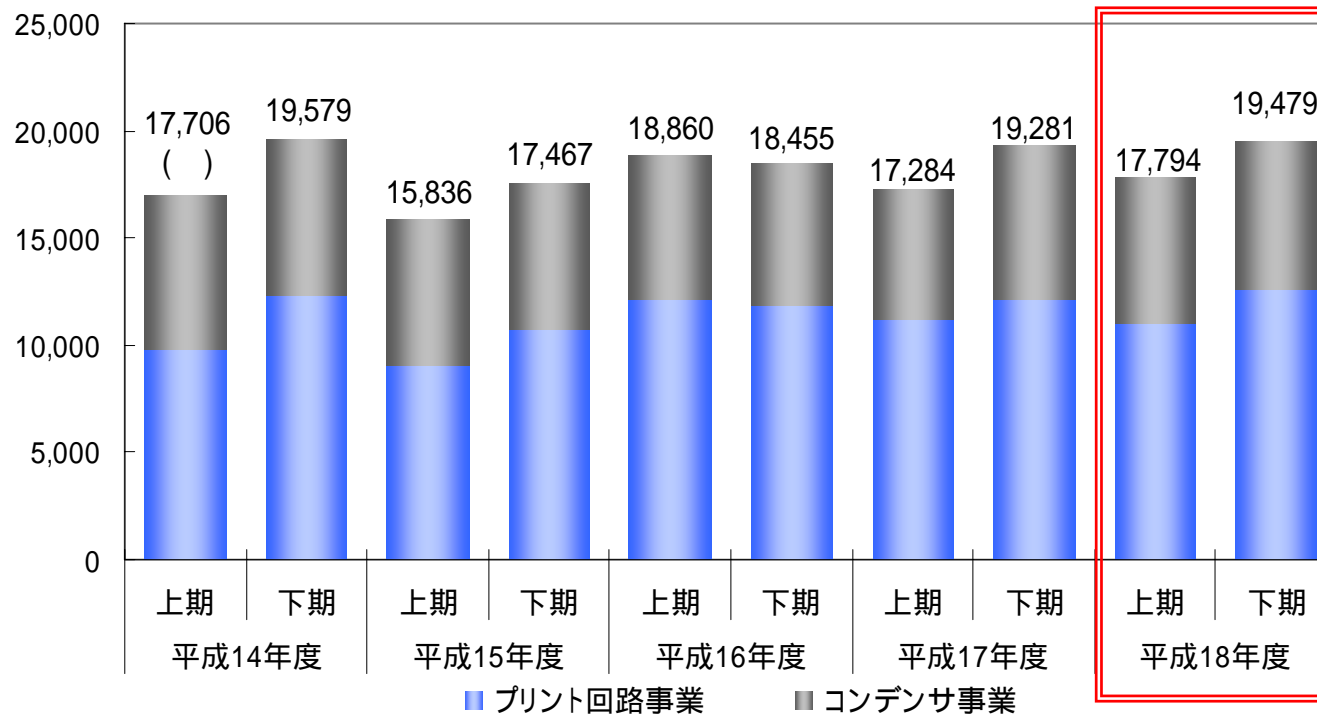
今後も中期計画の実現へ向けて、一層の経営資源の活性化に取り組んでまいり所存でありますので、株主の皆様には、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

以下、平成18年度の業績についてご説明申し上げます。

平成18年度業績レビュー ~ 売上高

平成18年度の連結売上高は372億7千3百万円(前期比1.9%増)と前期並みとなりました。事業別では、コンデンサ事業における連結売上高は136億7千4百万円(前期比3.2%増)、プリント回路事業における連結売上高は235億9千8百万円(前期比1.2%増)となりました。

【事業別連結売上高の推移(単位:百万円)】

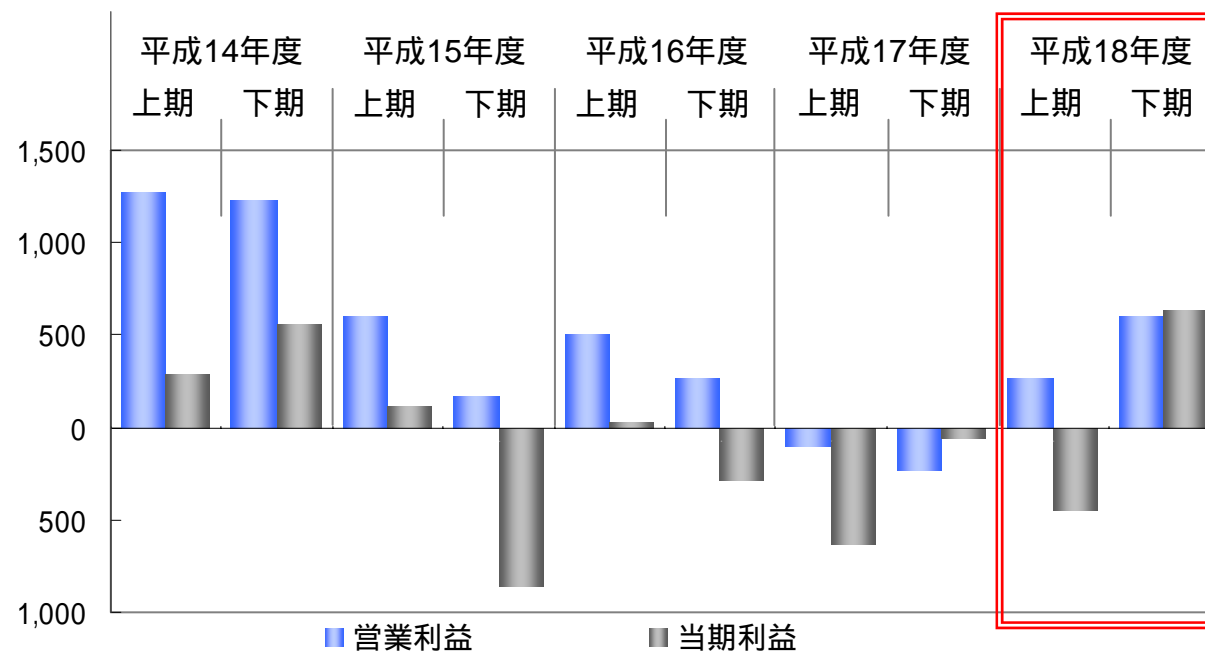


グラフ中の数値は、全社の連結売上高

平成18年度業績レビュー ~ 損益

平成18年度の損益は、コンデンサ事業において大幅に業績が改善したため、プリント回路事業において原材料価格高騰等の影響を受けたものの、連結営業利益は8億6千7百万円と前期の営業損失3億3千8百万円から大幅に改善しました。また、連結純利益は1億8千9百万円(前期は連結純損失6億9千2百万円)と平成14年度以来の黒字化を達成いたしました。

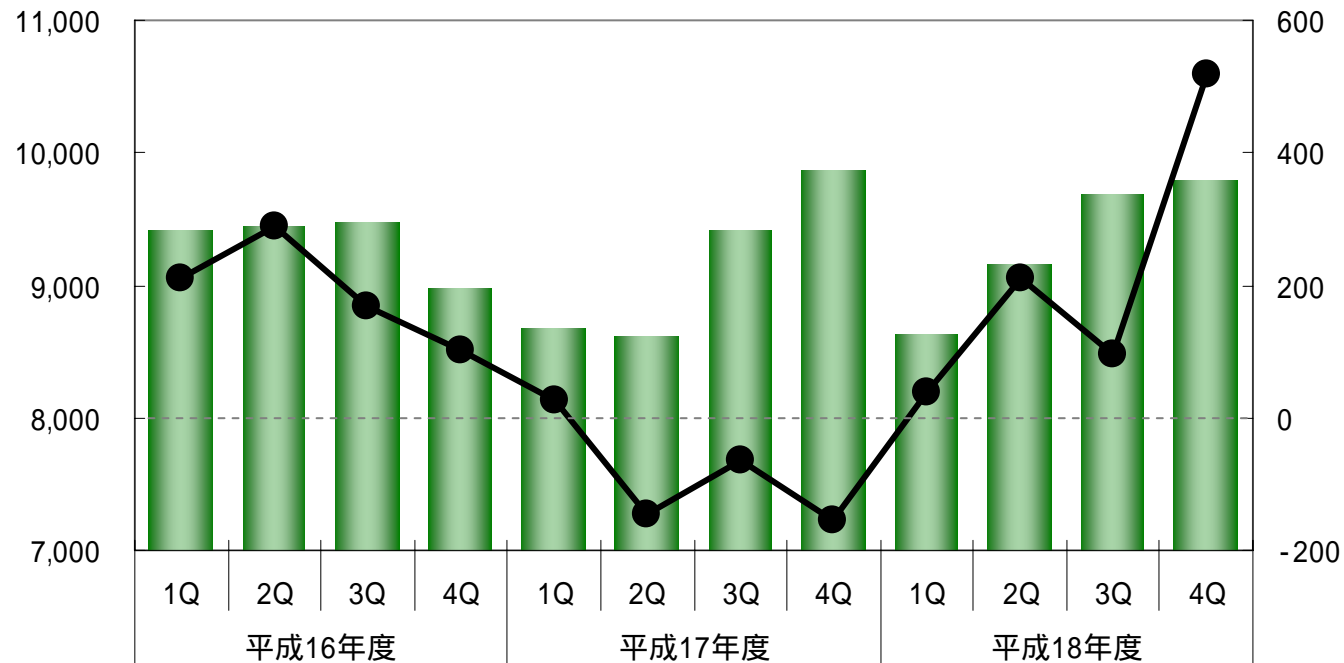
【連結営業利益および連結当期利益の推移(単位:百万円)】



平成18年度業績レビュー ~ 四半期別業績推移

平成17年度から平成18年度にかけて、高付加価値商品へのシフト及びコスト削減施策の推進により、売上高に大きな変動が見られないなか、営業利益は大幅に改善いたしました。引き続きスリムで筋肉質な収益体質の構築を図ってまいります。

【連結四半期業績の推移(単位:百万円)】

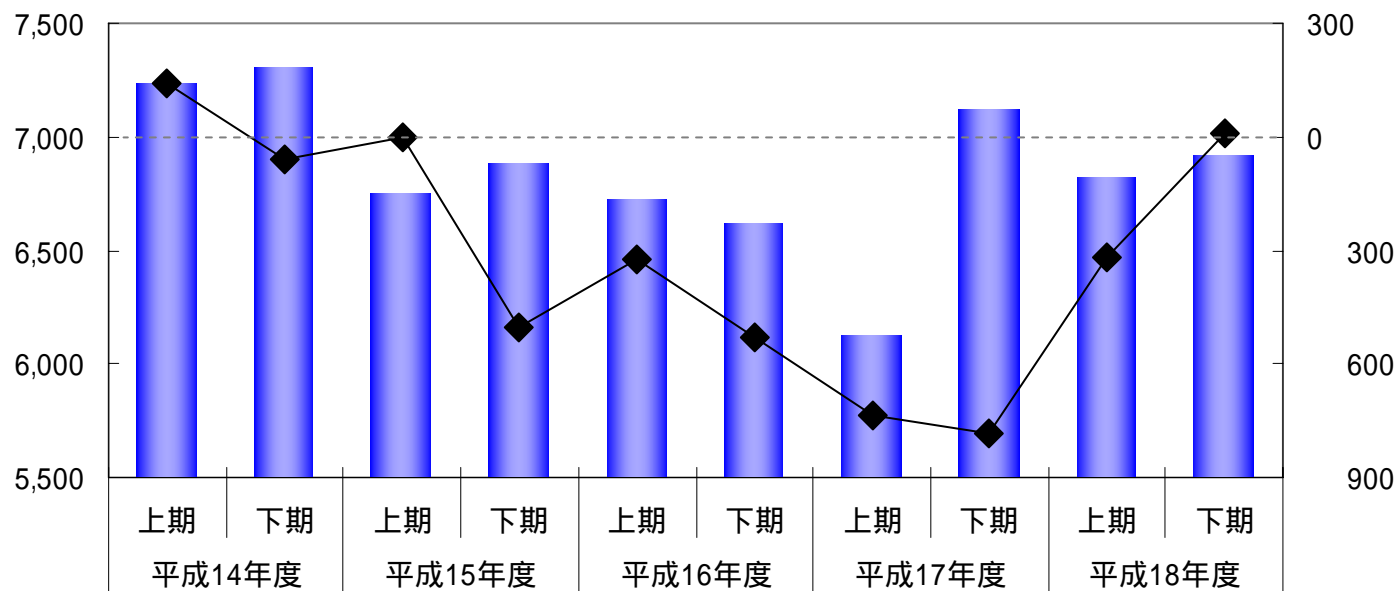


棒グラフは売上高(左軸)、折線グラフは営業利益(右軸)

平成18年度業績レビュー ~ コンデンサ事業の業績

コンデンサ事業におきましては、中期計画の実行施策に沿って、生産コストや販売管理費の削減、不採算品の販売縮小等の施策を進めた結果、連結売上高は136億7千4百万円(前期比3.2%増)にとどまったものの下期には連結営業利益の黒字化を果たし、連結営業損失3億1千4百万円(前期は連結営業損失15億2千2百万円)と12億8百万円の大幅な改善を達成することができました。

【コンデンサ事業の連結業績推移(単位:百万円)】

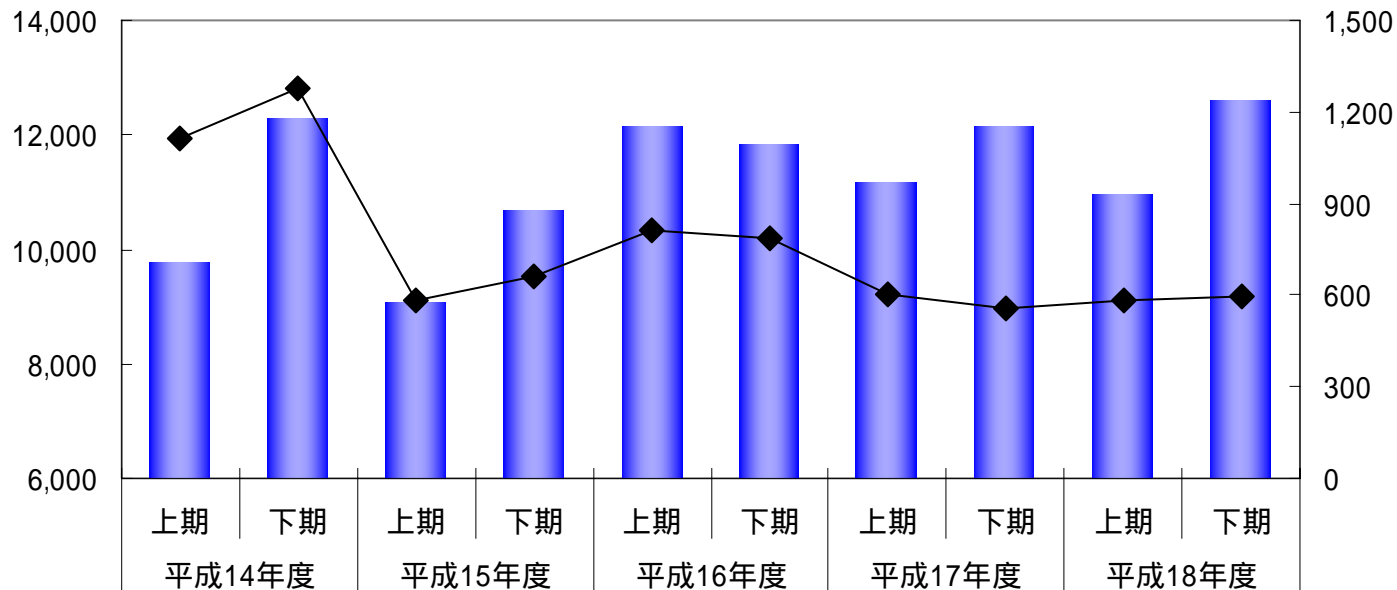


棒グラフは売上高(左軸)、折線グラフは営業利益(右軸)

平成18年度業績レビュー ~ プリント回路事業の業績

プリント回路事業におきましては、製品価格下落と原材料価格高騰等の影響の中で合理化等に努めた結果、連結売上高235億9千8百万円(前期比1.2%増)、連結営業利益11億8千1百万円(前期比2.1%増)とほぼ前期並みの業績を確保いたしました。

【プリント回路事業の連結業績推移(単位:百万円)】



棒グラフは売上高(左軸)、折線グラフは営業利益(右軸)

業績予想

平成19年度通期の業績につきましては、連結売上高380億円、連結経常利益8億5千万円、連結当期純利益8億円を予想しております。また、平成19年度期末配当につきましては、普通株式1株当たり2円の復配を計画しております。

	平成17年度 実績		平成18年度 実績		平成19年度 予想	
売上高	36,565	100.0%	37,273	100.0%	38,000	100%
営業利益	338	0.9%	867	2.3%	1,430	3.8%
経常利益	475	1.3%	316	0.8%	850	2.2%
当期純利益	692	1.9%	189	0.5%	800	2.1%
設備投資額	2,284		2,659			
減価償却費	1,624		1,722			
研究開発費	679		671			

単位:百万円